７月１１日（金）プログラム

09:00−10:40　**ワークショップ１**（２Ｆ講堂）

「感染と発がん・抗がん応答の機序」

座長：畠山 昌則（北海道大・遺制研）
　　　神奈木 真理（東京医科歯科大）

09:00−09:25　**細菌性癌タンパク質としてのピロリ菌CagA** W-1-1
畠山 昌則（北海道大・遺制研）

09:25−09:50　***Helicobacter pylori*と胃癌** W-1-2
立松 正衛（愛知県がんセンター研究所）

09:50−10:15　**HTLV-I感染における免疫応答と疾患発現** W-1-3
神奈木 真理（東京医科歯科大）

10:15−10:40　**EBウイルスによる自然免疫系の修飾と発がん** W-1-4
高田 賢蔵（北海道大・遺制研）

10:40−11:10　コーヒーブレイク

11:10−12:25　**ポスター演題発表１**（２Ｆ講堂）

座長：高岡 晃教（北海道大・遺制研）
　　　岩渕 和也（北海道大・遺制研）

11:10−11:15　***Staphylococcu aureus*由来細胞表層巨大蛋白質Ebhの立体構造解析** P/O-078
田中良和[1),2),3)]，坂本壮[2)]，黒田誠[4)]，郷田秀一郎[5)]，高 永貴[3)]，津本浩平[2)]，柊 弓弦[6)]，姚 閔[3)]，渡邉信久[3),7)]，太田敏子[8)]，田中勲[3)]
[1)]北大・創成，[2)]東大・院新領域，[3)]北大・生命科学院，[4)]感染研，[5)]長崎大，[6)]関西医大，[7)]名大・院工，[8)]筑波大・基礎医

11:15−11:20　**Variable lymphocyte receptorの遺伝学的・構造学的解析** P/O-072
笠松純　須藤洋一　笠原正典
北大・医

11:20−11:25　**豚コレラウイルスの感染より誘導されたI型インターフェロンが直接豚腎臓細胞のアポトーシスを誘導する** P/O-034
迫田義博[1)]　伊藤麻子[1)]　亀山健一郎[1)]　野村拓志[1)]　N. Ruggli[2)]　J.-D. Trastschin[2)]　喜田宏[1) 3)]
[1)]北海道大学・大学院獣医学研究科・微生物学教室　[2)]スイス獣医ウイルス免疫学研究所　[3)]北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター

11:25−11:30　**新規EBV-BACシステムによるBリンパ芽球様細胞株における効率の良い遺伝子発現法** P/O-107
神田　輝[1)]　高田　賢蔵[2)]
北海道大・遺制研・[1)]附属ウイルスベクター開発センター・[2)]癌ウイルス

11:30−11:35　**マウスマラリア原虫の制御性T細胞活性化におけるTLR9の役割** P/O-046
久枝　一、姫野國祐
九州大学・医学研究院

11:35－11:40　**MUC1-C3dワクチンによる免疫増強効果**P/O-064
太田里永子[1], Chun He[1], Ted Ross[2], 岡田則子[3], Stephen Tomlinson[1], 今井優樹[1), 3)]
サウスカロライナ医科大[1]　ピッツバーグ大・医[2]　名市大院・医[3]

11:40－11:45　**BCG誘発性肺肉芽腫形成におけるIL-17 産生TcR γδ型T細胞の関与**P/O-012
梅村正幸[1]　岡本祐子[1]　矢作綾野[1]　中江進[2]　岩倉洋一郎[2]　松崎吾朗[1]
[1] 琉球大・分生研セ・分子感染防御、[2] 東大・医科研・ヒト疾患モデル

11:45－11:50　**C5a/S19キメラのモルモット急性炎症モデルにおける炎症抑制効果**P/O-021
太田宜彦　谷口啓介　西浦弘志　山本哲郎
熊本大学大学院医学教育部機能病態学講座病態制御学専攻　分子病理学分野

11:50－11:55　**ゾレドロネートで刺激したヒトPBMCのγ・δT細胞の増殖とその機能に及ぼすIL-18 の効果**P/O-059
鈴木透[1], 李文[1], 久保秀司[1], 蒲池直美[1], 柏村信一郎[1], 上田晴康[2], 岡村春樹[1]
[1]兵庫医大、[2]兵庫医療大・薬

11:55－12:00　**ATPによるマクロファージの活性化に起因するCon A誘導性肝炎の悪化経路**P/O-018
川村宏樹[1)]　川村俊彦[1)]　Gunter Dennert[2)]　安保　徹[1)2)]
[1)]新潟大院・免疫　[2)]USC・免疫

12:00－12:05　**四塩化炭素肝障害マウスにおいて生体防護シグナル分子の産生を誘導する糖脂質とその自然免疫賦活化活性**P/O-096
相良佳男　門枡宏志　上田ゆかり　平良全栄
徳島文理大・薬

12:05－12:10　**TLRを介したcaspase-1 活性化におけるTRIFの必要性**P/O-051
今村美智子[1)], 安田好文[2)], 審良静男[4)], 筒井ひろ子[3)], 藤元治朗[1)], 中西憲司[2)]
[1)]兵庫医科大学外科学教室　[2)]同大学免疫医動物学教室　[3)]同大学病原微生物学教室　[4)]大阪大学微生物病研究所

12:10－12:15　**抗HIV-1 活性を示すヒト抗Nef-IgMモノクローナル抗体の解析**P/O-023
岡田則子[1)]、河村剛至[1)]、小田中瑞夕[1)]、岡田秀親[1),2)]
[1)]名古屋市立大学大学院医学研究科免疫学分野, [2)]福祉村病院長寿医学研究所

12:15－12:20　**低分子量Gタンパク質Rac1 は四肢形成に必須である**P/O-070
鈴木大[1)]　山田篤[1)]　安原理佳[1)]　木村文子[2)]　妻木範行[3)]　竹田秀[2)]　中村雅典[4)]　饗場篤[5)]　上條竜太郎[1)]
[1)]昭和大学・歯学部・口腔生化学教室　[2)]東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・整形外科学講座
[3)]大阪大学・大学院医学系研究科・骨軟骨形成制御学講座　[4)]昭和大学・歯学部・口腔解剖学教室　[5)]神戸大学・大学院医学研究科・分子遺伝学分野

12:20－12:25　**食細胞NADPHオキシダーゼgp91^{phox}/Nox2と非食細胞Nox1とNox3の活性化における低分子量Gタンパク質Racのinsert helixの役割** P/O-015
宮野 佳, 住本 英樹
九州大学・生体防御医学研究所・増殖分化制御学

12:30－13:30　**ランチョンセミナー（１Ｆ小講堂）**

「サイトカイン遺伝子の発現誘導におけるアンチセンス転写物の働き」
西澤 幹雄（立命館大・生命科学部）

13:30－14:15　**ポスター演題発表２（２Ｆ講堂）**

座長：畠山 鎮次（北海道大院・医）
　　　中尾 実樹（九州大院・農）

13:30－13:35 **上皮細胞増殖因子(EGF)依存的なPTHrPの発現制御と口腔癌細胞の増殖能・局所浸潤能との関連性**P/O-069
山田珠希[1,2] 津田真寿美[1] 大場雄介[1] 川口秀明[1] 戸塚靖則[2] 進藤正信[2]
[1]北大・院医 [2]北大・院歯

13:35－13:40 **マウス実験性腸炎モデルを用いてのCD30 リガンド／CD30 の炎症性腸疾患における役割の解明**P/O-049
孫 遜[1]、山田久方[1]、柴田健輔[1]、牟田浩実[2]、谷憲三朗[2]、Eckhard R. Podack[3]、吉開泰信[1]
九州大学・生体防御医学研究所・[1]感染制御学、[2]ゲノム病態学、[3]Department of Microbiology and Immunology, University of Miami, Miami, FL 33101, USA.

13:40－13:45 **パネト細胞α-defensinと腸内自然免疫:クローン病との関わりを含めて**P/O-014
綾部時芳[1] 深谷梨恵[1] 坂井直樹[1] 前本篤男[2] 蘆田知史[2] 河野 透[3] 田邊裕貴[4] 高後 裕[4]
[1]北大・先端生命 [2]札幌東徳洲会病院・IBD [1]旭川医大・外科 [1]旭川医大・内科

13:45－13:50 **がん微小環境における腫瘍血管内皮細胞の異常性**P/O-067
樋田京子[1]、樋田泰浩[2]、秋野文臣[1,3]、大賀則孝[1,4]、松田光平[1,4]、黒須拓郎[1,4]、土屋邦彦[1,3]、村木 力[1,4]、進藤正信[1]
[1]北大・歯・病理 [2]北大・腫瘍外科、[3]腎泌尿器科、[4]北大・歯・口腔外科

13:50－13:55 **血管新生を制御する新規遺伝子の同定とその機能解析**P/O-066
犬塚貴之[1] 津田真寿美[1] 田中伸哉[1] 川口秀明[1] 東雄二郎[2] 大場雄介[1]
[1]北大・院医 [2]愛知県心身障害者コロニー

13:55－14:00 **癌から分泌される乳酸によるIL-23/IL-17 活性化経路**P/O-061
井上徳光[1]、志馬寛明[1)3]、藪政彦[1]、赤澤 隆[1]、児玉 憲[2]、松本美佐子[3]、瀬谷 司[3]
[1]大阪府立成人病センター研究所・分子遺伝学、[2]呼吸器外科、[3]北海道大学大学院医学研究科・免疫学

14:00－14:05 **改良型NF-κB活性検出システムの構築**P/O-106
築山忠維 松田真由子 畠山鎮次
北海道大学大学院・医学研究科・医化学分野

14:05－14:10 **サイトカイン固定化マイクロビーズを用いた局所シグナル伝達機構の解析**P/O-105
荒津史裕[1] 原田伊知郎[1)2] 田川陽一[1)2] 赤池敏宏[1]
[1]東工大・生命理工 [2]科学技術振興機構 さきがけ

14:10－14:15 **黄斑変性カニクイザルにおける補体関連分子の解析**P/O-088
岩田 岳[1]、池 在龍[1]、関 麻子[1]、吉田統彦[1]、三宅養三[1]、溝田 淳[3]、鈴木通弘[3]、寺尾恵治[4]、吉川泰弘[5]
[1]独立行政法人国立病院機構東京医療センター臨床研究センター（感覚器センター）、[2]順天堂大学医学部浦安病院眼科、[3]社団法人予防衛生協会、[4]独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター、[5]東京大学農学生命科学研究科

14:15－16:15 **シンポジウム４（１Ｆ小講堂）／シンポジウム６（２Ｆ講堂）**

シンポジウム４ 「免疫と分子進化」

座長：野中 勝（東京大院・理）

笠原 正典（北海道大院・医）

14:15－14:39 **補体系の分子進化 －レクチン経路と第二経路－**S-4-1

藤田 禎三（福島県立医大・医）

14:39－15:03 **カブトガニにおける補体活性化カスケードの分子機構**S-4-2

川畑 俊一郎（九州大院・理）

15:03－15:11 **コイ補体成分C7 アイソタイプのクローニングと発現解析**P/O-087

赤星 佐和、辻倉 正和、杣本 智軌、中尾 実樹
九州大院・農

15:11－15:35 **イムノ プロテアソーム遺伝子多型とMHCの進化**S-4-3

野中 勝（東京大院・理）

15:35－15:43 **“21 番目のアミノ酸”セレノシステインを取り込むための分子基盤**P/O-079

尾瀬 農之[1, 3]、Linda Rasubala[1]、神田 大輔[1]、Nicolas Soler[2]、吉澤 聡子[2]、Dominique Fourmy[2]、前仲 勝実[1]
[1]九大・生医研 [2]ICSN-CNRS [3]北大・生命科学院

15:43－15:51 **フグToll様受容体(TLR)、TLR21 の機能解析**P/O-073

松尾 綾[1]、押海 裕之[1]、松本 美佐子[1]、瀬谷 司[1) 2)]
[1]北大・医、[2]北大・生命科学院

15:51－16:15 **円口類のユニークな生体防御戦略**S-4-4

笠原 正典（北海道大院・医）

シンポジウム６ 「自然免疫と臨床疾患 Ⅱ」

座長： 富永 眞一（自治医大・医）
中西 憲司（兵庫医大）

14:15－14:40 **ST2 遺伝子と病気**S-6-1

富永 眞一（自治医大・医）

14:40－15:05 **成人気管支喘息重症度と*IL-18* 遺伝子多型の相関解析**S-6-2

玉利 真由美（理研・ゲノム医学研究センター）

15:05－15:30 **アレルギーにおけるマスト細胞とT細胞のクロストーク**S-6-3

中江 進（東京大・医科研）

15:30－15:55 **IL-33 は獲得免疫応答の関与なしに自然型気管支喘息を誘導する**S-6-4

善本 知広（兵庫医大）

15:55－16:00 **Dcirの欠損は樹状細胞の過剰増殖に起因する自己免疫疾患発症の原因となる**P/O-071

藤門 範行[1]、西城 忍[1]、米沢 朋[1) 2)]、島森 一輔[1]、石井 明奈[1]、須貝 縦[1]、小瀧 逸人[1]、須藤 カツ子[1]、能勢 眞人[3]、岩倉 洋一郎[1]
[1]東大医科研 [2]ジェノダイブファーマ（株） [3]愛媛大・医

16:00－16:05 **ATL腫瘍細胞の走化性におけるCXCR4 を介したシグナル経路の解析**P/O-068

川口 晶[1]、大場 靖子[1]、木村 享史[1]、伊波 英克[2]、緒方 正男[3]、佐多 徹太郎[4]、澤 洋文[1]、長谷川 秀樹[4]
[1]北大・人獣センター、[2]大分大・医、[3]大分大・医・病院、[4]国立感染研

16:05－16:10　**Toll-like receptor 4 のagonistic antibodyによるマラリアの制御**P/O-043
古田 隆久[1]、高村(赤司) 祥子[1]、三宅 健介[1], 松岡 裕之[2]、渡辺 直熙[3]
[1] 東大医科研・感染遺伝学, [2] 自治医大・医・医動物, [3] 慈恵医大・熱帯医学

16:15－16:45　コーヒーブレイク

16:45－17:15　**ポスター演題発表３（２Ｆ講堂）**
座長：横田 伸一（札幌医大・医）

16:45－16:50　**カビ毒による白血球遊走阻害とメカニズム解析**P/O-104
寺川貴裕、土屋朋子、一杉規子、山内明、金ヶ嵜史朗
（株）エフェクター細胞研究所

16:50－16:55　**CD25 陽性IL-17 産生γδT細胞は胎児胸線で機能分化を果たす**P/O-057
柴田健輔　山田久方　中村梨沙　孫遜　逸見百江　吉開泰信
九州大学・生医研・感染制御学分野

16:55－17:00　**Interleukin-27 およびその受容体による遅延型過敏反応の抑制**P/O-048
宮崎義之　島ノ江洋平　王森　吉田裕樹
佐賀大・医・分子生命科学・生体機能制御学

17:00－17:05　**ITAMを介したNF-κB活性化の細胞種特異的な制御機構**P/O-047
原博満 [1)2)], 吉田裕樹[1)], 斉藤隆[2)]
[1)] 佐賀大学・分子生命科学　[2)] 理化学研究所RCAI

17:05－17:10　**マウススクレーピー病原体の消化管における初期動態**P/O-042
阿野泰久[1)]、佐藤雪太[4)]、井関倫子[4)]、中山裕之[2), 3)]、佐多徹太郎[5)]、湯川眞嘉[4)]、小野寺節[1), 3)]
東大院農[1)]応用免疫、[2)]獣医病理、[3)]食の安全、[4)]日大生物資源実験動物、[5)]国立感染研感染病理

17:10－17:15　**クリプトコッカスDNAによる樹状細胞活性化機序の解析**P/O-041
田中三鈴[1)]、宮里明子[2)]、阿部　譲[1)]、丹野大樹[1)]、石井恵子[1)]、川上和義[1)]
1)東北大学大学院医学系研究科基礎検査医科学領域　感染分子病態解析学分野、2）埼玉医科大学国際医療センター　感染症科・感染制御科

17:15－18:15　**ポスターセッション**（第１会議室）

18:30－20:00　懇親会（きゃら亭）